

福山みらい創造ビジョン
人口減少対策アクションプラン2026

2026年（令和8年）3月
福山市企画財政局
企画政策部企画政策課

目次

1 人口減少対策の趣旨

2 これまでの人口減少対策の振り返り

- (1) 全体目標の達成状況
- (2) 各ペルソナの取組と成果

3 本市の状況

- (1) 人口動態
- (2) 新たなペルソナの設定

4 新たな人口減少対策【2026年度（令和8年度）～2030年度（令和12年度）】

- (1) 本プランの位置付け
- (2) 2026年度（令和8年度）の主な施策・事業
- (3) 重点ペルソナに対する主な施策・事業
- (4) 重点ペルソナごとの目標指標

5 参考資料

- (1) 重点ペルソナ関連データ
- (2) 2026年度（令和8年度）人口減少対策の事業一覧

1 人口減少対策の趣旨

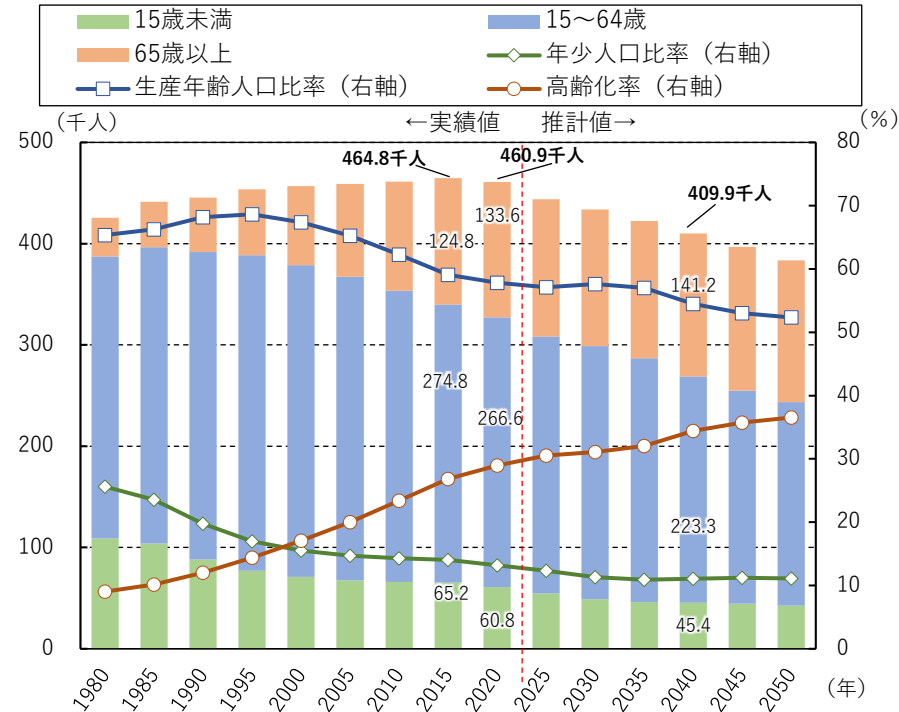
調査資料の記載方法等

- 人口関連統計データには、日本人のみと外国人を含むものがあり、タイトルの後ろにその旨を記載
- MA…複数回答、SA…単一回答
- N…アンケート回答者数（資料元に記載がない場合は未記載）
- 四捨五入により、合計が一致しない場合がある

1 人口減少対策の趣旨

- 福山市の人口は、**2020年（令和2年）の国勢調査で460,930人**であり、1940年（昭和15年）以来の減少となりました。また、住民基本台帳における人口は、2026年（令和8年）2月末で約45.1万人となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、**2040年（令和22年）には約41万人まで減少**すると予測されています。
- 今後、人口減少が加速度的に進行することで、企業活動の縮小や生活利便性の低下、地域の魅力の低下といった悪循環が生じ、さらなる人口減少を招くおそれがあります。
- こうした悪循環への対応として、2018年（平成30年）8月に「新たな人口減少対策～強化策～」を策定し、2019年度（令和元年度）からアクションプランを基に、官民連携で人口減少対策に取り組んでいます。
- 本プランは、出生数や転入出者数などの**人口動態や意識変化に関するデータを分析し、注力するポイントやターゲットを明確化するペルソナマーケティングを活用することで、一層効果的な対策を打つために策定する**ものです。
- 取組期間については、**2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までの5か年**とします。

【福山市の将来人口推計グラフ（年齢3区分別）（外国人を含む）】



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023年（令和5年）推計）
 ※2020年までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年以降は推計値



2040年（令和22年）のめざす姿

多様なライフスタイルが実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある / 希望のライフスタイルへのサポート / 多様性を尊重しあえる心

2 これまでの人口減少対策の振り返り

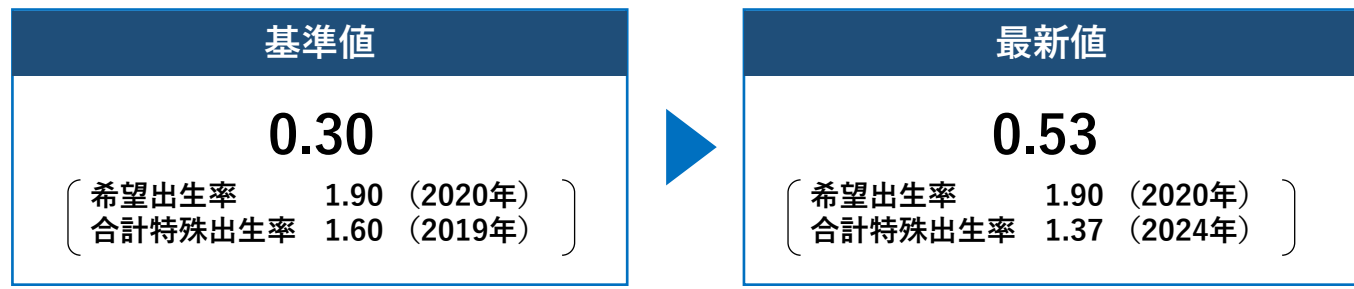


2 これまでの人口減少対策の振り返り

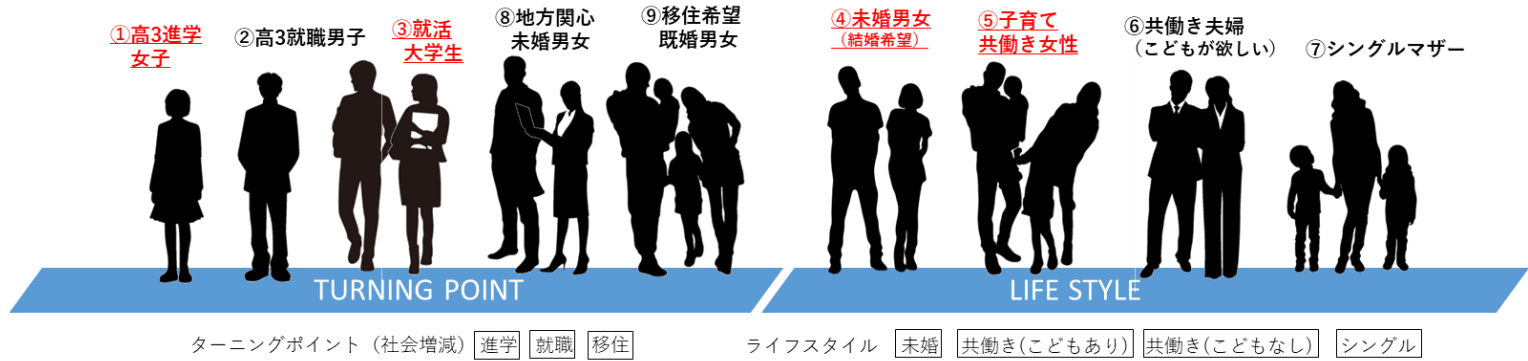
(1) 全体目標の達成状況

- 本市では、2016年（平成28年）の出生数が4,000人を下回り、平成の大合併後では最低となったことから、今後想定される人口減少社会に対応するため、自然増減と社会増減に大きく影響を与える世代をターゲットとした「**新たな人口減少対策～強化策～**」を2018年度（平成30年度）に策定。この新たな人口減少対策では、**2040年（令和22年）のめざす姿に「多様なライフスタイルが実現できるまち」を掲げ、まずは現役世代を減らさないよう、社会増減に関するターニングポイント（進学・就職・移住）とライフスタイル（シングル・専業主婦（夫）・共働き・未婚※2024年度～）を踏まえた9つのペルソナを設定**し、具体的な人物像を意識した施策構築を行ってきた。
- 第1期【2019年度（令和元年度）～2021年度（令和3年度）】は「**基盤づくり・新型コロナを踏まえた新たなライフスタイルの実現**」、第2期【2022年度（令和4年度）～2025年度（令和7年度）】は「**満足度の高い子育てと働き方の実現**」に向けて、ペルソナを意識した様々な施策に取り組んできた。
- この間、男性の育児休業取得率は目標値を上回る大幅な上昇となるなど働き方において一定の変化は見てとれるが、出生数、合計特殊出生率ともに低下を続けており、本プランの全体目標としている「**希望出生率と合計特殊出生率の差の縮小**」は実現できていない。

【全体目標】 希望出生率と合計特殊出生率の差を縮める



【これまでのペルソナ】



※赤字：重点ペルソナ



(2) 各ペルソナの取組と成果

- 社会動態への対応として、**進学時の転出を抑制する**ために、自宅から市外大学に通学する際の交通費を支援する制度の創設や福山市立大学への情報工学部新設に向けた取組などにより、進学における選択肢の充実を図ってきた。加えて、**市外に転出した若者が福山に戻ってくる流れをつくる**ため、ふるさと学習などの郷土愛醸成に向けた取組やインターンシップの受入促進、キャリア&ライフデザイン支援などに取り組んできた。
- 自然動態への対応として、**安心して妊娠・出産・子育てができる**よう、2017年度（平成29年度）に「福山ネウボラ」を創設し、ネウボラ相談窓口「あのね」が中心となって、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行ってきた。2023年度（令和5年度）以降、市民の声や社会状況の変化を踏まえ、子ども医療費の助成にかかる所得制限の撤廃や第2子以降の保育料無償化など「出産・子育てにかかる費用の軽減」、病児・病後児保育など「保育サービスの充実と医療提供体制の確保」、「こどもと楽しめる場所等の創出」、「仕事と子育ての両立支援」、「気軽に相談できる環境づくり」の**5つを福山ネウボラの強化ポイントとし、子育て環境の更なる充実**を図ってきた。また、2024年度（令和6年度）からは、未婚化への対応として出会いの場の創出にも取り組み、誰もが望むライフスタイルの実現に向けて様々な施策を行ってきた。
- 結果として、高校生の市内企業認知度の向上や女性が働きやすい環境を整えている企業数の増加などの改善も見てとれるが、若者の転出超過の解消や婚姻件数の増加には至っていない。

ペルソナ	目標指標	2025年度 目標値	基準値	2021	2022	2023	2024	2025	評価
ペルソナ① 高3進学女子	将来、福山市に戻ってきたいと思う 高3進学女性の割合	60%	42.2% (2019年度)	48.5%	-	-	-	36.1%	D
	高校3年生の市内企業の認知度（5社以上）	60%	43.7% (2019年度)	47.3%	-	-	-	58.2%	A
ペルソナ② 高3就職男子	高校生の地元就職率	75%	70.8% (2018年度)	66.1%	65.7%	67.7%	61.9%	※2026年度 公表予定	D
ペルソナ③ 就活大学生	20歳～24歳の男女転出入数	±0人	▲295人 (2018年)	▲386人	▲405人	▲465人	▲521人	※2026年度 公表予定	D
ペルソナ④ 未婚男女(結婚希望)	婚姻件数 ※2024年度からペルソナに「未婚男女」を追加	基準値を 維持	1,951件 (2022年)	-	1,951件	1,766件	2025年度	※2026年度 公表予定	D
ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	こどもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合	100%	99.2% (2019年度)	100%	-	-	100%	-	A
	自分の時間がもてると回答した女性の割合	100%	82.8% (2019年度)	80.4%	-	73.3%	98.0%	-	A
	男性の育児休業取得率	30%	3.1% (2018年度)	10.2%	32.9%	39.5%	50.7%	※2026年度 公表予定	A
ペルソナ⑥ 共働き夫婦	(ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち) 女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている 企業の数	65社	44社 (2021年度)	44社	46社	53社	61社	※2026年度 公表予定	A
ペルソナ⑦ シングルマザー	児童扶養手当受給者における全部支給者の割合	50%	51.2% (2017年度)	56.5%	54.3%	54.6%	61.2%	※2026年度 公表予定	D
ペルソナ⑧ 地方関心未婚男女	25歳～39歳の男女転出入数	50人 転入超過	20人 (2018年)	83人	▲231人	▲292人	▲432人	※2026年度 公表予定	D
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男女	福山市への移住意向	20%	12.7% (2015年度)	未調査					-

各施策の数値目標の達成率 = (直近実績 - 基準値) / (目標値 - 基準値)
 A：達成率70%以上 B：達成率50%以上70%未満 C：達成率30%以上50%未満 D：達成率30%未満

3 本市の状況



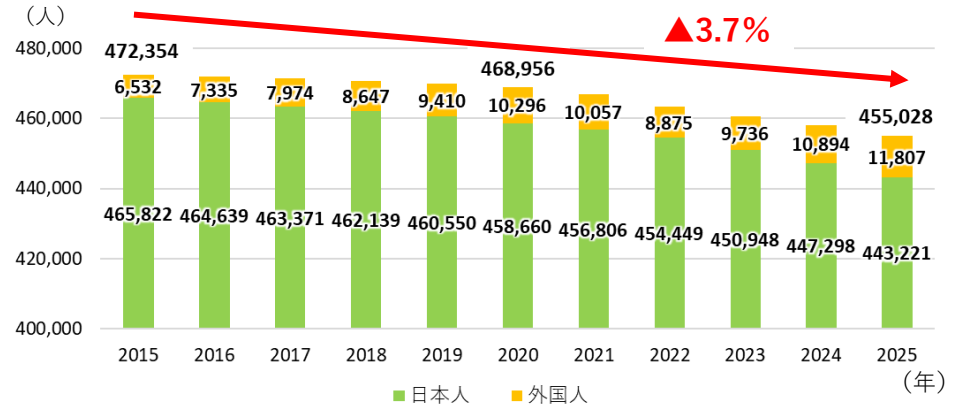
3 本市の状況

(1) 人口動態

① 総人口

- 福山市の人口は、2025年（令和7年）の時点で**455,028人**であり、そのうち日本人は443,221人と
なっている。
※2020年（令和2年）国勢調査時の人口：460,930人
- 2018年度（平成30年度）からペルソナとして設定し
ている若年層（15歳～39歳）の人口減少に歯止めがか
かっておらず、特に25歳～39歳の減少が顕著である。

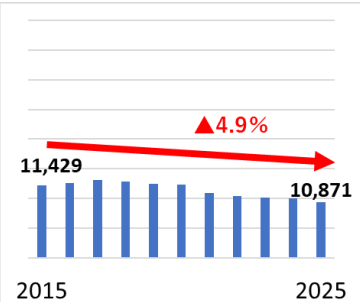
【総人口の推移】



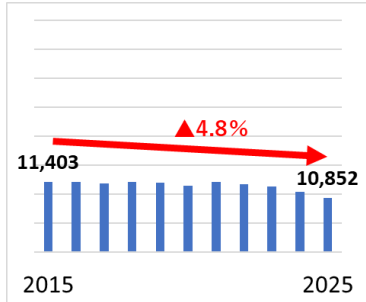
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（各年1月1日時点）」

【15歳～39歳の人口動態推移（日本人のみ）】（単位：人）

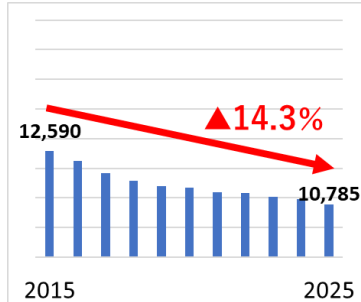
<<15歳～19歳男性>>



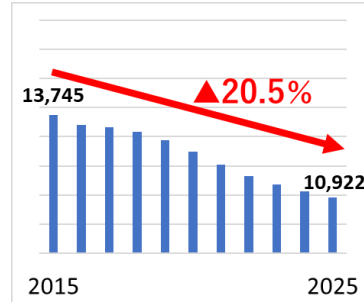
<<20歳～24歳男性>>



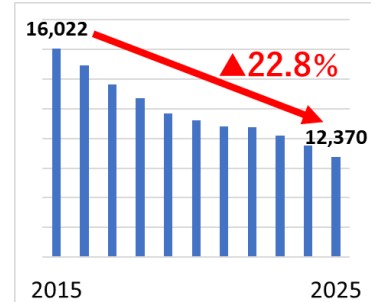
<<25歳～29歳男性>>



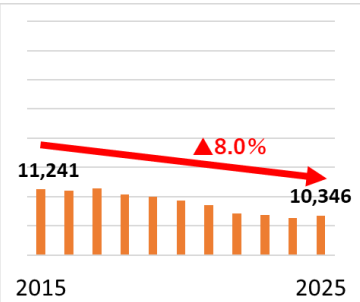
<<30歳～34歳男性>>



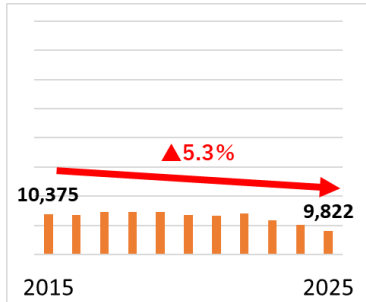
<<35歳～39歳男性>>



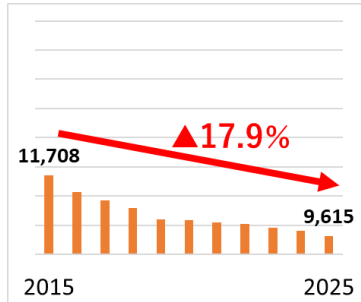
<<15歳～19歳女性>>



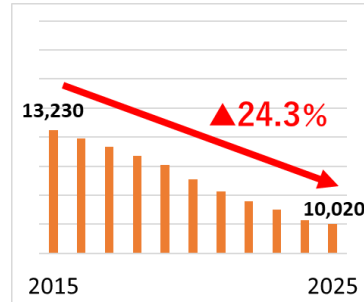
<<20歳～24歳女性>>



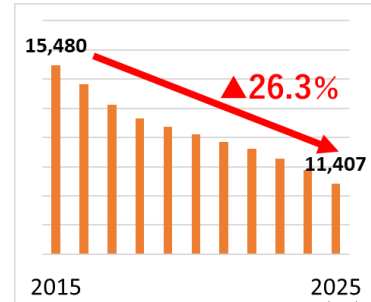
<<25歳～29歳女性>>



<<30歳～34歳女性>>



<<35歳～39歳女性>>



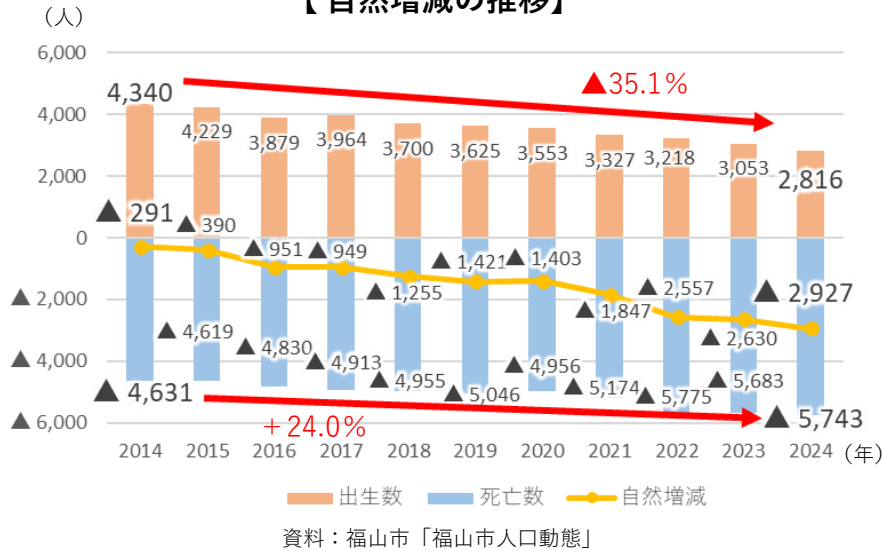
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（各年1月1日時点）」



②自然動態

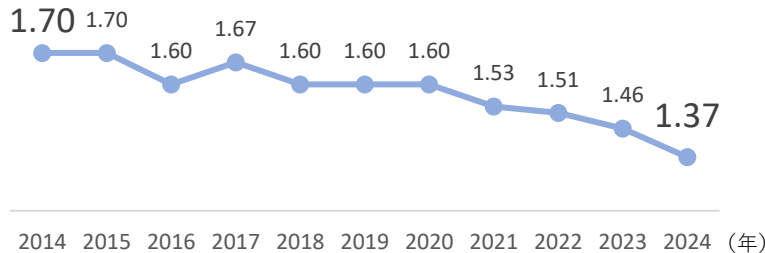
- 自然動態については、死亡数が出生数を上回る状態が続いている。
- 特に、出生数は10年で3割以上減少している。

【自然増減の推移】



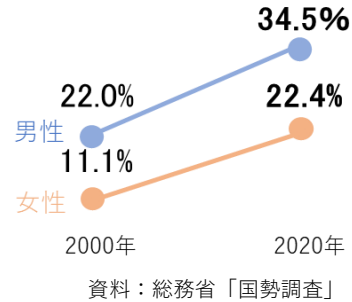
- 合計特殊出生率については、2014年（平成26年）の1.70から2024年（令和6年）には1.37へと減少傾向にある。

【合計特殊出生率の推移】

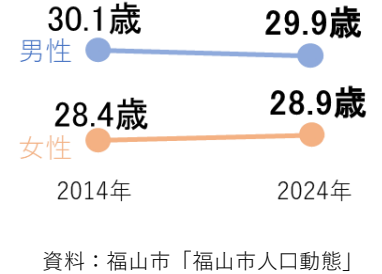


- 出生数減少の主な要因としては、未婚化・晩婚化や希望出生率の減少などが挙げられる。

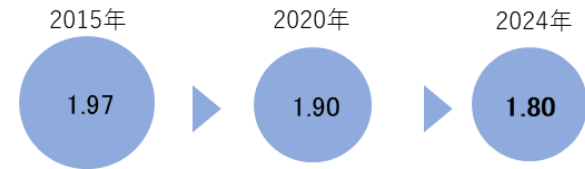
①未婚率（35～39歳男女）



②平均婚姻（初婚者）年齢



③希望出生率



資料：福山市「福山市人口ビジョン」
「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート」
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

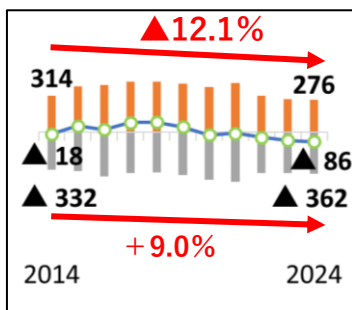


③社会動態

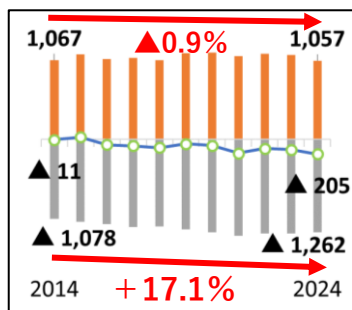
- 国内移動、日本人のみの転入については、30歳代男女の減少が大きい。
- 転出については、15歳～19歳男女、20歳～24歳男女、25歳～29歳男性の増加が大きい。

【15歳～39歳の転入出者数の推移（国内移動、日本人のみ）】（単位：人）

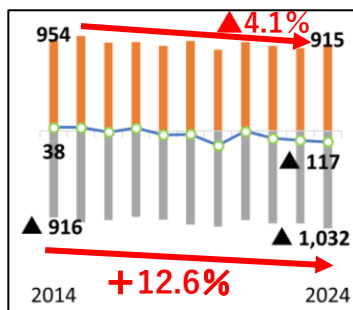
≪15歳～19歳男性≫



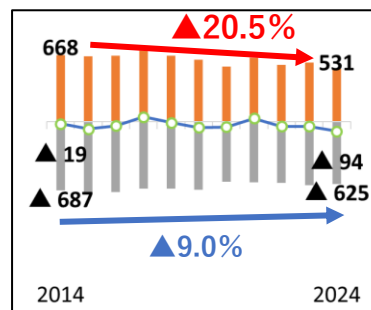
≪20歳～24歳男性≫



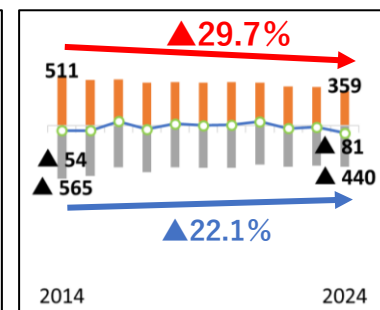
≪25歳～29歳男性≫



≪30歳～34歳男性≫

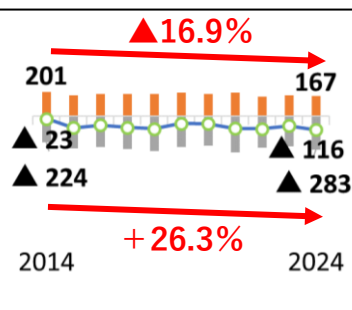


≪35歳～39歳男性≫

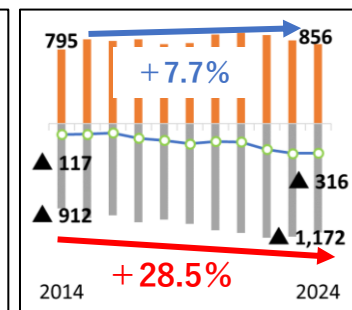


(年)

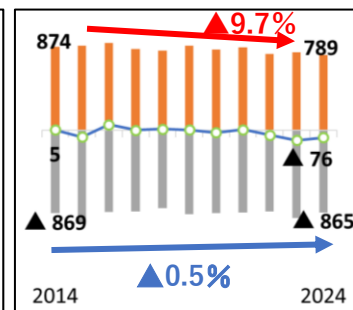
≪15歳～19歳女性≫



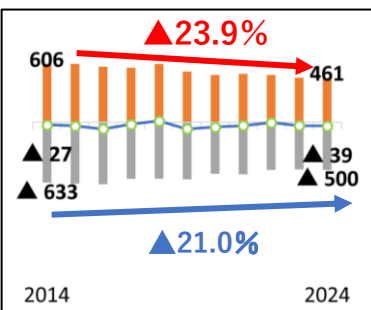
≪20歳～24歳女性≫



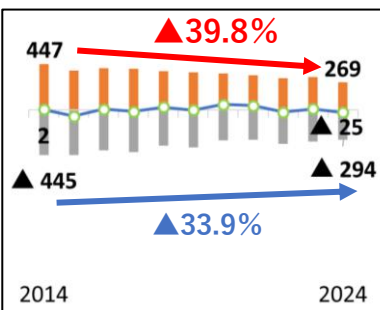
≪25歳～29歳女性≫



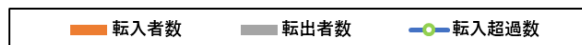
≪30歳～34歳女性≫



≪35歳～39歳女性≫



(年)





(2) 新たなペルソナの設定

自然減対策

- 直近10年間で出生数が3割以上減少していることを踏まえ、その主な要因である未婚化・晩婚化への対応のために、20歳代後半社会人の未婚女性と未婚男性を設定。

社会減対策

- 直近10年間で転出者数が大きく増加している又は転入者数が大きく減少している年齢層の中で、移動理由等のデータを踏まえて政策効果が及ぶことなどを考慮し、ペルソナを設定。
- 転出抑制**として、20歳代前半の女子大学生、20歳代後半の社会人既婚男性のペルソナを設定。
- 転入促進**として、30歳代の既婚男女（ファミリー）のペルソナを設定。

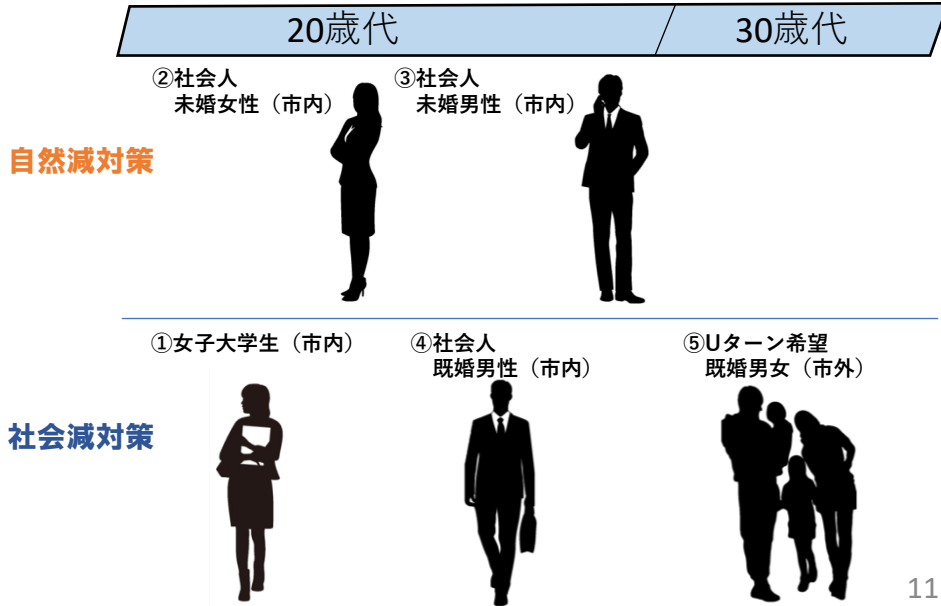
これまでのペルソナ

9つのペルソナ



新たなペルソナ

5つの重点ペルソナ



4 新たな人口減少対策【2026年度（令和8年度）～2030年度（令和12年度）】

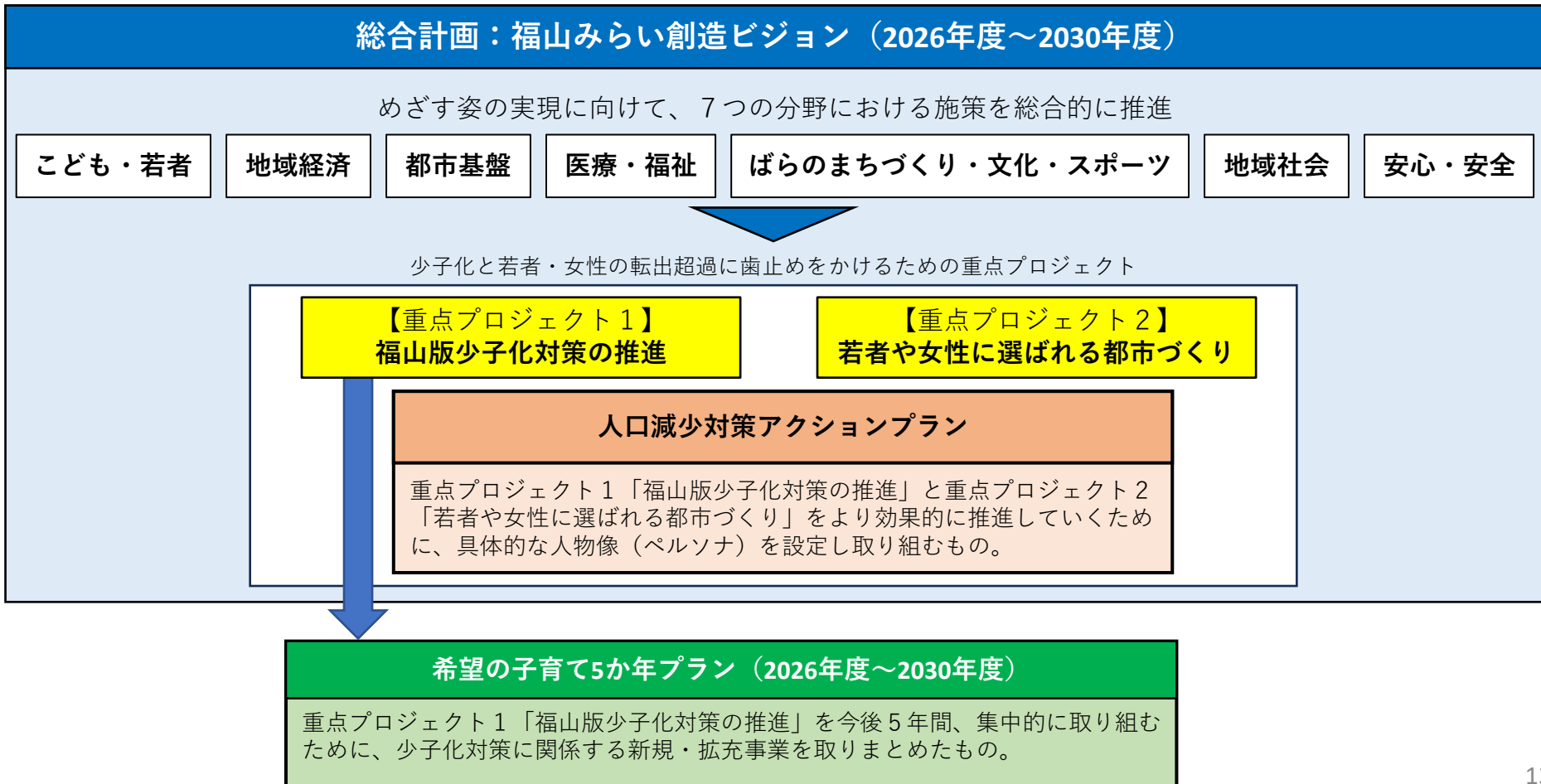


4 新たな人口減少対策【2026年度（令和8年度）～2030年度（令和12年度）】

(1) 本プランの位置付け

- 本市の最上位計画（総合計画）である「福山みらい創造ビジョン」に掲げる2つの重点プロジェクトをより効果的に推進していくために、出生数や転入出者数などの人口動態データや年齢・性別ごとの意識関連データに基づき、政策ターゲット（ペルソナ）を設定し、人口減少対策アクションプランとして取り組むもの。
- また、重点プロジェクトである「福山版少子化対策の推進」については、少子化対策専門家会議等での提言や意見を踏まえて、今後5年間、特に注力して取り組むために「希望の子育て5か年プラン」を作成。

【本プランの位置付け】





(2) 2026年度（令和8年度）の主な施策・事業

福山版少子化対策の推進

① 働き方改革による家族時間・自分時間の確保

○グリーンな企業プラットフォームの充実

- ・ 新働き方改革リーダー研修
- ・ 新働き方改革実践応援奨励金
- ・ 新企業の福利厚生充実に向けた実証事業
- ・ 新働き方改革の推進に関する官民共同会議の設置



② 多様な生き方の尊重を前提とした結婚・出産を望む人への支援

○性別役割分担意識の変革と賃金格差の是正

- ・ 新ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築

○地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革

- ・ 新アンコンキャラバン隊による出前講座

○将来のライフプラン設計の支援

- ・ 新プレコンセプションケアの推進

○多様な出会いの場の提供

- ・ 新AIマッチングシステムの導入

○結婚後の住まいの確保支援

- ・ 若者夫婦世帯向け市営住宅の充実

○周産期・小児医療の強化

- ・ 新福山市民病院 周産期母子医療センターの開設

○妊娠・出産に向けた支援の充実

- ・ 一般不妊治療費助成の拡充

③ こどもと子育て家庭への支援

○ネウボラセンターの本格稼働

- ・ 新ネウボラセンターの相談体制の充実

○DXによる相談対応の質の向上

- ・ 新母子保健業務に係る相談記録のDX

○幼児健診の充実

- ・ 新5歳児健康診査の試行実施

○経済的負担の大胆な軽減

- ・ 新小学校の給食費完全無償化
- ・ 子ども医療費助成の拡充

○保護者のニーズに対応したサービスの提供

- ・ 新手ぶらで登園できる「かるがる登園」の開始
- ・ 新乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施

○こどもの成長を支える環境整備

- ・ 新保育士資格取得支援による人材確保

○放課後児童クラブの利便性向上

- ・ 新放課後児童クラブのICT化

○障がい・発達に課題のあるこども・子育て家庭への支援

- ・ 新医療的ケア児の通学支援の本格実施
- ・ こども発達支援センターの体制拡充

○不登校・ひきこもり支援

- ・ 校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実

○貧困の連鎖の解消

- ・ ヤングケアラーへの支援強化に向けた実態調査

○ユースセンター等による居場所づくり

- ・ 新ユースセンターの開設

○屋内外のこどもの遊び場の充実

- ・ 新ニーズに対応した魅力ある公園づくり（公園遊具等整備事業）



若者や女性に選ばれる都市づくり

① 学びと仕事の選択肢の充実

○福山市立大学情報工学部の開設に向けた取組

- ・ 新棟の整備
- ・ 学生確保のための広報や入試の実施

○夢の実現を後押し

- ・ (仮称) ふくやま未来大賞の実施
- ・ 嗣中・高校生を対象とした次世代A I アカデミーの開催
- ・ 福山夢・未来開花プロジェクト

○成長分野の企業誘致

- ・ 嗣新たな企業誘致施策の検討

○グリーンな企業プラットフォームの充実

- ・ 嗣働き方改革リーダー研修
- ・ 嗣働き方改革実践応援奨励金
- ・ 嗣企業の福利厚生充実に向けた実証事業
- ・ 嗣働き方改革の推進に関する官民共同会議の設置

② 子育て・教育環境の充実

○福山版少子化対策の推進

○確かな学力と豊かな心の育成

- ・ 「学力向上プロジェクト」の更なる充実
- ・ 文化芸術体験による豊かな創造力の育成

○不登校の未然防止と支援の充実

- ・ 校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実《再掲》
- ・ メタバースを活用した不登校支援
- ・ 地域と連携したフリースクール「おやまの学校」の開催

○こどもの学びを支える教育環境の向上

- ・ 嗣全ての市立小・中学校等体育館への空調整備
- ・ コミュニティ・スクールの全校導入

③ 市域全体のにぎわい創出

○福山駅周辺のにぎわい再生

- ・ 福山駅広場整備基本計画を踏まえた広場再編事業

○全世代交流型エリアの創造

- ・ (仮称) 子ども未来館の整備
- ・ 嗣大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の移築
- ・ 嗣五本松公園再整備

○地域の拠点づくり

- ・ 嗣地域の拠点づくり推進アドバイザーの派遣
- ・ 地域力アップデート大会議の開催

○文化・芸術活動の促進

- ・ ばらのまち福山国際音楽祭の充実

○スポーツを楽しむ機会と環境の充実

- ・ 嗣秋の一大イベントの開催

④ “ばら”による都市ブランド価値の向上

○ばらであふれるまち

- ・ 公共空間への大会記念ばらの植栽
- ・ 嗣世界バラ会議福山大会開催1年後イベント
- ・ ばらのまち福山の情報発信の強化
- ・ 周遊バスなどによるガーデンツアーの推進

○ばらのまちづくりの歴史・ローズマインド

- ・ ばらの日啓発活動によるばらへの愛着の醸成
- ・ Rose & Peace教育の推進

○ばらを愛する多くの市民

- ・ 嗣福山ばら大学にマイスターコース創設

○国際会議を成功に導いたまちの力

- ・ 嗣現地視察制度によるMICE誘致の促進
- ・ MICEボランティアの本格始動



(3) 重点ペルソナに対する主な施策・事業

ペルソナ①

【市内大学に通う女子大学生】

学生に企業の “魅力を届ける”



年齢：20歳
 性別：女性（未婚）
 職業等：大学生
 こども：なし
 住まい：福山市内

ワークライフバランスがしっかりしているところに就職したい。働きやすさや働きがいが必要。

▶ ○グリーンな企業プラットフォームの充実

地元企業について学校で調べたことや訪れたことがあるけどあまり覚えていない。福山にどんな会社があるのかわからない。

▶ ○インターンシップ等による大学生のキャリア形成支援
 ○若者が市内企業を知る機会の充実

都会だったら、働く上で男女格差なく満足度の高い生活が送れるかも。

▶ ○地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革

買い物や遊べる場所、楽しめるイベントが少ない。福山にもっと賑わいがあればいいのに。

▶ ○福山駅周辺のにぎわい再生
 ○スポーツを楽しむ機会と環境の充実

企業の魅力と認知度向上

- グリーンな企業プラットフォームの充実
 - **新働き方改革リーダー研修**
 - 市内企業の管理職を対象とした研修により、働き方改革を実践するリーダーを育成
 - **新働き方改革実践応援奨励金**
 - 男性育児休業取得率等を要件とした働き方改革を推進する企業への奨励金
- インターンシップ等による大学生のキャリア形成支援
 - **新キャリア教育支援事業費補助**
 - 大学生等の企業見学、職業体験に係る経費の補助
- 若者が市内企業を知る機会の充実
 - **新卒向け合同企業説明会**
 - 新規学卒者を対象とした合同企業説明会の開催（福山地方雇用対策協議会補助）

公平（フェア）な社会の実現

- 地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革
 - **新アンコンキャラバン隊による出前講座**
 - 地域・団体等への出前講座を通じたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促進

市域全体のにぎわい創出

- 福山駅周辺のにぎわい再生
 - **福山駅前広場整備基本計画を踏まえた広場再編事業**
 - 市民や関係機関、専門家等の意見を踏まえた駅前広場の再整備を推進
- スポーツを楽しむ機会と環境の充実
 - **新秋の一大イベントの開催**
 - 市民の健康意欲向上やスポーツを通じた豊かな成長のきっかけとなるイベントを開催



ペルソナ②

【市内在住の未婚女性】

出会い・結婚の “希望がかなう”



年 齢：26歳
 性 別：女性（未婚）
 職業等：会社員
 こども：なし
 住まい：福山市内

結婚したい思いはあるけど、何から始めてい
 かがわからない。共通の趣味など自然な流れで
 出会えると良いな。

▶ ○多様な出会いの場の提供

周囲から女性は家事という価値観を押し付けら
 れるのが嫌。結婚後も、キャリアを意識した働
 き方をしていきたい。

▶ ○性別役割分担意識の変革と賃金格差の是正
 ○地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革

学生時代に就職や結婚、出産といった将来につ
 いて考える機会があったら良かったな。

▶ ○将来のライフプラン設計の支援

ペルソナ③

【市内在住の未婚男性】

出会い・結婚の “希望がかなう”



年 齢：29歳
 性 別：男性（未婚）
 職業等：会社員
 こども：なし
 住まい：福山市内

結婚や将来の子育てを考えると、現在の収入で
 は不安が大きい。結婚するとしたら、経済的に
 安定してからが良いかも。

▶ ○結婚後の住まいの確保支援
 ○妊娠や出産に向けた支援の充実
 ○子育てにかかる経済的負担の軽減

今の働き方で、結婚後、家事や育児をやってい
 けるだろうか。仕事も家庭も大切にしたい。

▶ ○グリーンな企業プラットフォームの充実

親から「結婚して家庭を持って一人前だ」と言
 われるのがプレッシャー。

▶ ○性別役割分担意識の変革と賃金格差の是正
 ○地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革



出会いと結婚の後押し

- 多様な出会いの場の提供
 - ・ **新**AIマッチングシステムの導入
 - 趣味や価値観が合う相性の良い異性をAIが紹介
 - ・ **新**コーディネーターによる相談支援
 - 結婚に関する相談への対応やマッチング後の伴走支援
- 結婚後の住まいの確保支援
 - ・ 若者夫婦世帯向け市営住宅の充実
 - 市営住宅を若者夫婦・子育て世帯向けに改修
 - 子育て世帯専用住宅の入居対象世帯に「若者夫婦世帯」を新たに追加



結婚や出産等にかかる不安の軽減

- 妊娠や出産に向けた支援の充実
 - ・ 一般不妊治療費助成の拡充
 - 35歳未満夫婦：助成なし→年5万円（最大）
 - 35歳以上夫婦：年2.5万円→年5万円
- 子育てにかかる経済的負担の軽減
 - ・ 子ども医療費助成の拡充
 - 中学3年生までを高校生年代までに拡充

企業の働き方改革の推進

- グリーンな企業プラットフォームの充実
 - ・ **新**働き方改革リーダー研修
 - 市内企業の管理職を対象とした研修により、働き方改革を実践するリーダーを育成
 - ・ **新**働き方改革実践応援奨励金
 - 男性育児休業取得率等を要件とした働き方改革を推進する企業への奨励金

公平（フェア）な社会の実現

- 性別役割分担意識の変革と賃金格差の是正
 - ・ **新**ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築
 - ジェンダーギャップ解消プロジェクトチームの発足
 - ・ **新**女性の復職キャリア支援
 - 市内に住む求職中の女性を対象に、専門講師による実務資格取得から就職までの伴走支援（資格取得のためのオンライン講座、就労支援など）
- 地域や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの変革
 - ・ **新**アンコンキャラバン隊による出前講座
 - 地域・団体等への出前講座を通じたアンコンシャス・バイアスへの気付きを促進

SRHR（性と生殖に関する健康と権利）の理解促進

- 将来のライフプラン設計の支援
 - ・ **新**プレコンセプションケアの推進
 - 性別を問わず、若者が性や健康に関する正しい知識を持つための啓発、相談支援体制の整備



ペルソナ④

【市内企業に勤める既婚男性】

仕事と暮らしの “質を高める”



年齢：28歳
性別：男性（既婚）
職業等：会社員
こども：なし
住まい：福山市内

これまで培ったスキルや経験を活かして、今よりも労働条件が良い新たな仕事にもチャレンジしてみたい。

- ▶ ○若者が市内企業を知る機会の充実
- 新たな産業を呼び込む企業誘致

仕事が忙しくて、家のことはほぼ妻に任せきり。こどもは欲しいが、今の働き方では妻も自分も不安。

- ▶ ○グリーンな企業プラットフォームの充実

男性の育児休業制度はあるけど、先輩はあまり取っていない。もっと育児参加を応援する雰囲気があれば良いのに。

- ▶ ○男性の家事・育児への参画に向けた機運醸成

駅周辺の魅力や交通の利便性が高まると良いな。

- ▶ ○福山駅周辺のにぎわい再生
- 地域公共交通の充実

仕事の選択肢の充実

- 若者が市内企業を知る機会の充実
 - ・ グリーンな企業プラットフォームの推進
 - ▶ グリーンな企業プラットフォームを通じた企業の魅力発信
- 新たな産業を呼び込む企業誘致
 - ・ **新**びんごもの創り推進会議
 - ▶ 備後地域のものづくり企業と首都圏等のベンチャー企業のマッチングによる新たなビジネス機会の創出
 - ・ **新**新たな企業誘致施策の検討
 - ▶ 市内外企業の立地ニーズ等の調査・分析を踏まえた支援策の検討

企業の働き方改革の推進

- グリーンな企業プラットフォームの充実
 - ・ **新**働き方改革リーダー研修
 - ▶ 市内企業の管理職を対象とした研修により、働き方改革を実践するリーダーを育成

公平（フェア）な社会の実現

- 男性の家事・育児への参画に向けた機運醸成
 - ・ 子育て応援ウィークの実施
 - ▶ 共働き・共育ての推進と子育てを社会全体で応援する機運の醸成

市域全体のにぎわい創出

- 福山駅周辺のにぎわい再生
 - ・ 福山駅前広場整備基本計画を踏まえた広場再編事業
 - ▶ 市民や関係機関、専門家等の意見を踏まえた駅前広場の再整備
- 地域公共交通の充実
 - ・ バス共創プラットフォームによる実証事業
 - ▶ 公共交通の利便性向上に向けて実証事業を実施



ペルソナ⑤ 【Uターンを考える 市外在住の既婚男女】

Uターンして “子育てしたいまち”

年齢：34歳
性別：男女（夫婦）
職業等：会社員
子ども：2人（乳児・幼児）
住まい：備後圏域出身
関西圏に在住



もっと自然が豊かな環境で、子どもを育てたいな。子育て支援も充実していればいいな。

- ▶ ○ネウボラセンターを中心とした相談体制の充実
- ▶ ○子育てにかかる経済的負担の軽減

子どもの学びの選択肢が、都会より少ないのが不安。

- ▶ ○多様な学びの推進

Uターンには興味があるけど、仕事がネック。

- ▶ ○求職者と市内企業のマッチング支援

街中に咲き誇るばら。一度外に出たからこそ気付けた「これが故郷」と誇れる景色を家族にも感じてほしい。

- ▶ ○“ばら”による都市ブランド価値の向上
- ▶ ○郷土愛の醸成

子育て・教育環境の充実

- ネウボラセンターを中心とした相談体制の充実
 - ・ **新**ネウボラセンターの相談体制の充実
 - ▶ 有人チャット対応による24時間相談可能な体制整備
 - ▶ 社会福祉士や公認心理士などの専門職を充実
 - ▶ 子育て等の相談・手続のワンストップ化
- 子育てにかかる経済的負担の軽減
 - ・ 子ども医療費助成の拡充
 - ▶ 中学3年生までを高校生年代までに拡充
- 多様な学びの推進
 - ・ イエナプラン教育の実践
 - ・ 校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実
 - ▶ 外部講師による学習支援を実施

Uターンの促進

- 求職者と市内企業のマッチング支援
 - ・ **新**U・Iターン就職支援事業費補助
 - ▶ 就職活動に係る交通費、内定後の移転費用の補助

市民の誇りや愛着の醸成

- “ばら”による都市ブランド価値の向上
 - ・ ばらのまち福山の情報発信の強化
 - ▶ 「ばらのまち福山」ブランドの認知拡大に向けた戦略的広報活動の実施
 - ・ Rose & Peace教育の推進
 - ▶ ばらやばらのまちづくりを題材とした探求学習
- 郷土愛の醸成
 - ・ ふるさと学習による郷土愛の醸成
 - ▶ 福山の自然や歴史、文化などの学習を通じた地域の魅力の発見



(4) 重点ペルソナごとの目標指標

重点ペルソナ	2030年度 目標指標	基準値
ペルソナ① 市内大学に通う女子大学生	○市内大学生の市内就職率：32.5%	○26.0%（2025年3月卒業）
ペルソナ② 市内在住の未婚女性	○「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合：70% 【参考：進捗把握指標】 ○「いずれ結婚するつもり」と考えている未婚女性の割合	○基準値なし （2026年度調査予定） ○51.9%（2024年）
ペルソナ③ 市内在住の未婚男性	○「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合：70% 【参考：進捗把握指標】 ○「いずれ結婚するつもり」と考えている未婚男性の割合	○基準値なし （2026年度調査予定） ○59.4%（2024年）
ペルソナ④ 市内企業に勤める既婚男性	○「働き方改革により時間外労働時間が減った」と感じる人の割合： 基準値+10.0ポイント ○市内企業の従業員定着率：76.4%	○基準値なし （2026年度調査予定） ○71.4%（2025年度）
ペルソナ⑤ Uターンを考える市外在住の既婚男女	○住民基本台帳人口移動報告の転入者数におけるUターン者数： 1,005人	○732人（2024年）

5 參考資料



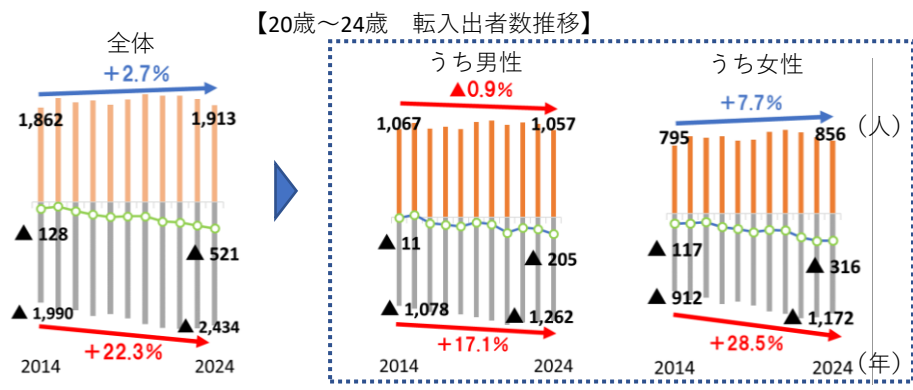
(1) 重点ペルソナ関連データ

ペルソナ①市内大学に通う女子大学生 (20歳女性)

【人口関連データ】

ア 転入出者数の状況

- 2014年（平成26年）から2024年（令和6年）にかけて、転出超過が大きく拡大している。
- 転入者数は、男性が横ばい、女性は増加傾向にある。一方で、転出者数は男女ともに大きく増加している。

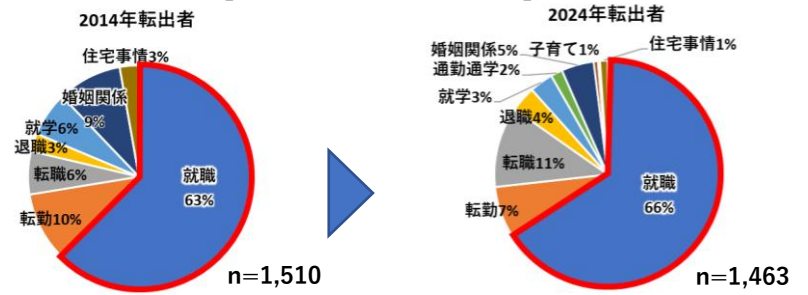


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

イ 転出者の転出理由

- 2014年（平成26年）と2024年（令和6年）を比較すると、就職を理由とする割合が若干増加しており、構成比は依然として最も大きい。

【20歳～24歳男女 転出理由】



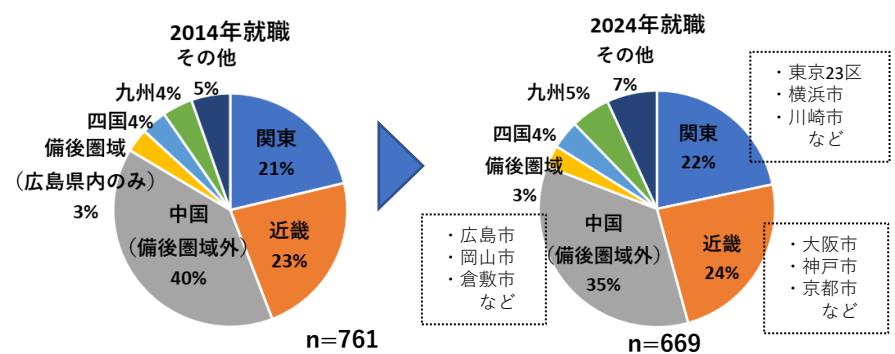
資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」

※「その他」及び「不詳」を按分により補完した「不詳補完値」を算出し作成。

ウ 就職を理由とした転出者の状況

- 就職を理由とした転出者の傾向としては、中国地方（備後圏域外）への転出割合が僅かに減少している。
- 関東地方では東京23区、近畿地方では大阪市、中国地方では広島市や岡山市などの都市部への転出が多く見られる。

【20歳～24歳男女 就職を理由とした転出先】



資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」

※2014年データについては、都道府県単位までの転出先調査となっているため、広島県を除く市町村単位での転出状況については不明。（以降のページも同様）

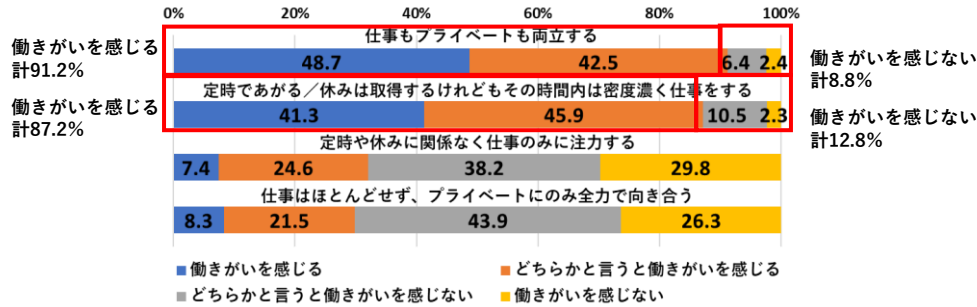


【意識関連データ】

ア 若者の就業価値観

- 若者の就業価値観が変化しており、仕事とプライベートを両立する働き方に働きがいを感じる人が多い。

【社会に出た後の働き方についてどう感じるか (SA)】 n=2,026

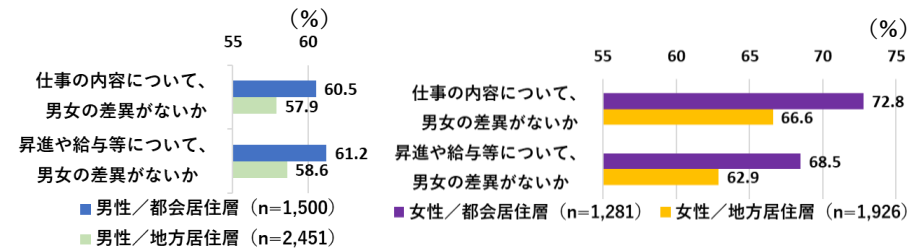


資料：厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査（速報値）」（2024年）

ウ 仕事に関する満足度の地域格差

- 国の調査では、都会居住層と地方居住層の仕事に関する満足度について、男性より女性において都会居住層と地方居住層の差が大きい。

【現在の仕事に対する満足度 (SA)】

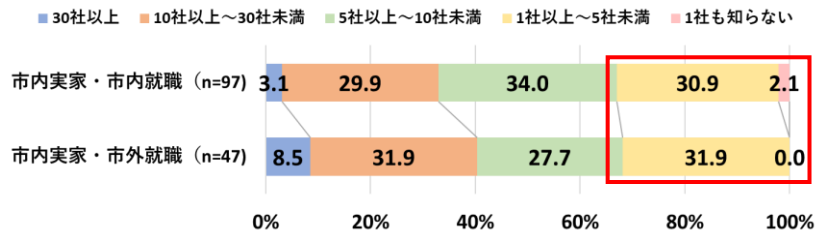


資料：内閣府「令和6年度 地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」

イ 大学生等の市内企業認知度

- 約3割の学生が「1社以上～5社未満」と回答しており、市内企業の認知度が低い。

【市内大学生等の市内企業の認知度 (SA)】

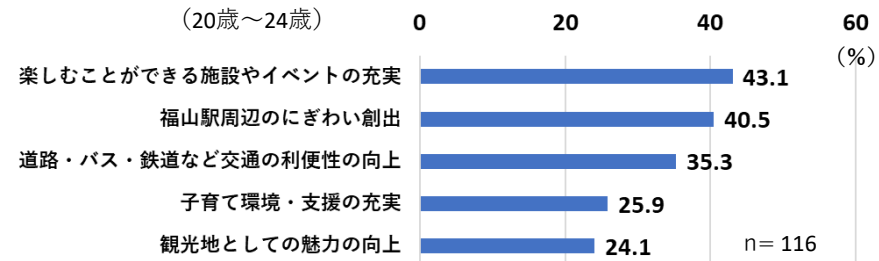


資料：福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査（2023年度）」

エ 若者が思う街の魅力

- 福山市が魅力的なまちになるために重要なこととして、「楽しむことができる施設やイベントの充実」、「福山駅周辺のにぎわい創出」などが挙げられている。

【福山市が魅力的なまちになるために重要なこと上位5項目 (MA)】



資料：福山市「福山市子ども・若者世代実態調査」（2024年）



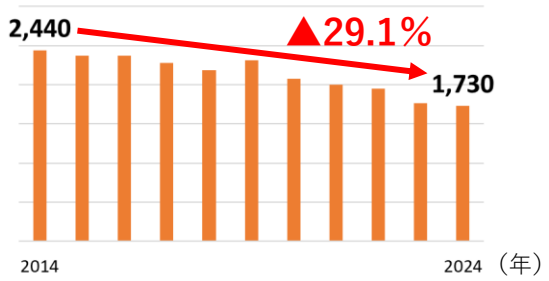
ペルソナ②市内在住の未婚女性（26歳女性）
 ペルソナ③市内在住の未婚男性（29歳男性）

【人口関連データ】

ア 婚姻件数と未婚率

- 本市の婚姻件数は、直近10年間で29.1%減少している。

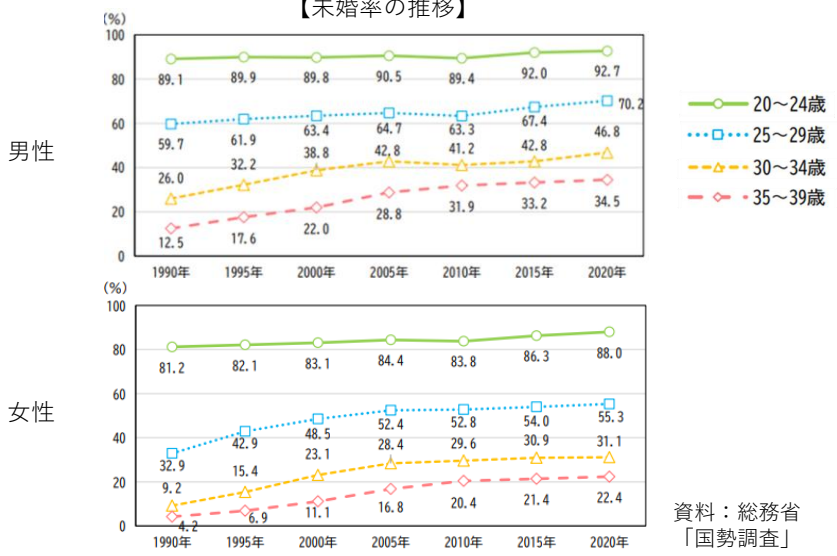
【婚姻件数の推移】



資料：福山市「福山市人口動態」

- 本市の未婚率は、男女共に上昇傾向にある。

【未婚率の推移】

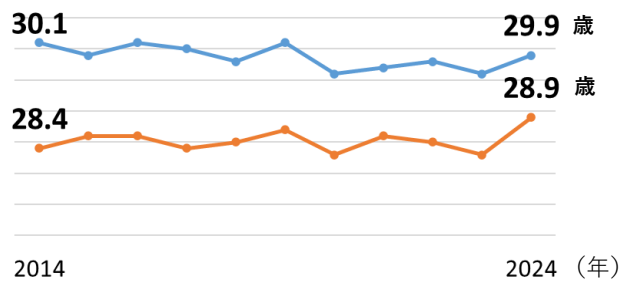


資料：総務省「国勢調査」

イ 平均婚姻（初婚者）年齢

- 本市の平均婚姻（初婚者）年齢は、直近10年間、おおむね横ばいで推移している。

【平均婚姻（初婚者）年齢の推移】

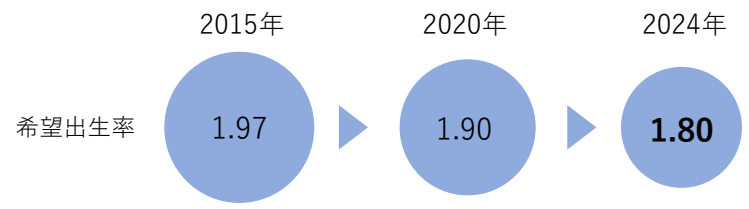


資料：福山市「福山市人口動態」

ウ 希望出生率

- 市民の希望出生率は、2024年（令和6年）に1.80人と減少傾向にある。
- 希望出生率の低下は、未婚者のうち結婚を考えている人の割合の減少も影響している。

【希望出生率の推移】



資料：福山市「福山市人口ビジョン」（2015年）
 福山市「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート」（2020年、2024年） 25

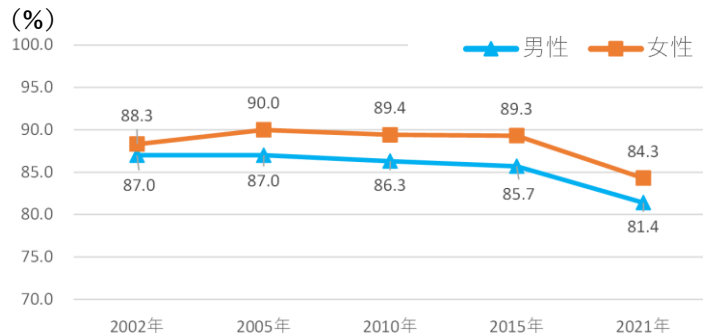


【意識関連データ】

ア 若者の結婚意向

- 18歳～34歳の未婚男女における結婚意向がある者の割合（「いずれ結婚するつもり」と回答した者の割合）は、近年減少傾向にあるものの、大きく減少していない。

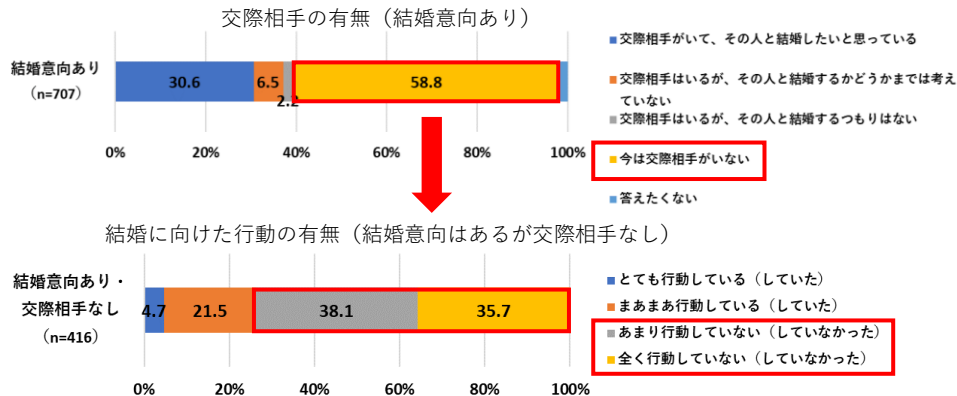
【18歳～34歳の未婚男女「いずれ結婚するつもり」と回答した者の推移（全国）】



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」（2021年）

- 結婚意向がある20歳～39歳の広島県在住の未婚男女のうち、交際相手がない者は58.8%であり、このうち結婚に向けた相手を見つけるための行動をしていない者は73.8%となっている。

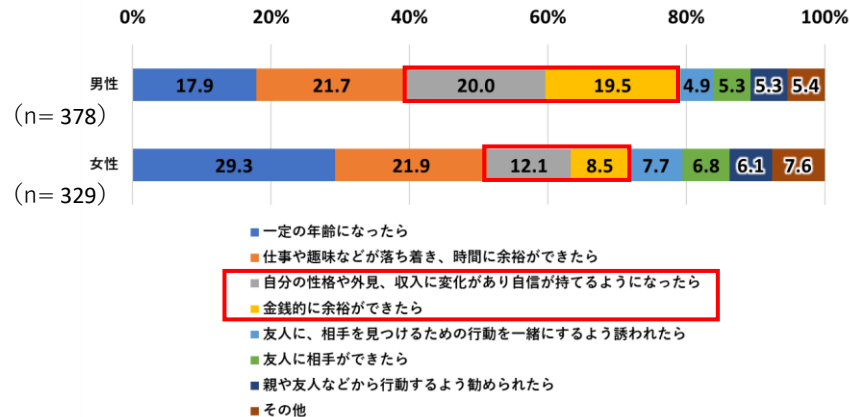
【交際相手の有無と結婚に向けた行動の有無（SA）】



資料：広島県「県民の結婚の意識に関する調査」（2025年）

- 結婚に向けた行動をするきっかけとして、男性は「自分の性格や外見、収入に変化があり自信が持てるようになったら」、「金銭的に余裕ができたなら」を挙げている割合が女性よりも高い。

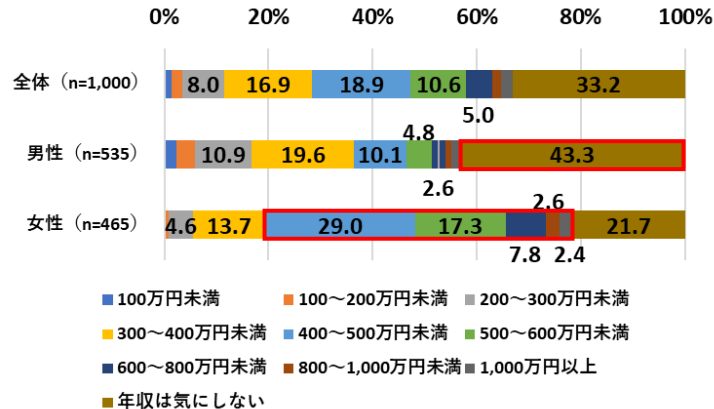
【結婚に向けた行動をするきっかけ（SA）】



資料：広島県「県民の結婚の意識に関する調査」（2025年）

- 結婚しようと思える相手の年収について、男性は「年収は気にしない」が最も多く、女性は400万円以上を求める割合が約6割となっている。

【結婚しようと思える相手の年収（SA）】



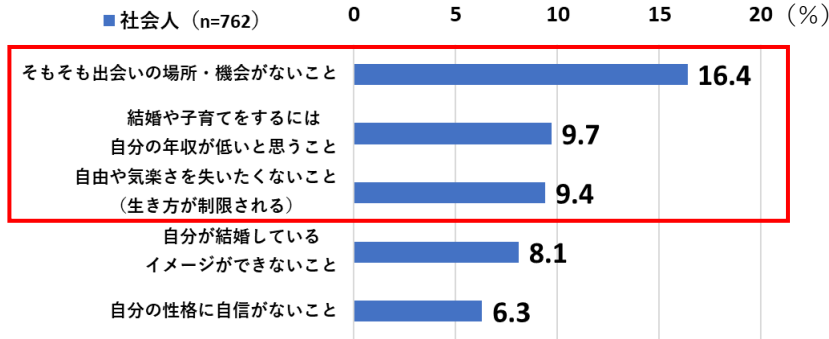
資料：広島県「県民の結婚の意識に関する調査」（2025年）



イ 結婚へのハードル

- 県内の未婚の社会人が結婚へのハードルに挙げていることとしては、「出会いがないこと」に次いで、「自分の年収が低いこと」、「自由や気楽さを失いたくないこと」が多い。

【結婚へのハードル上位5項目 (SA)】

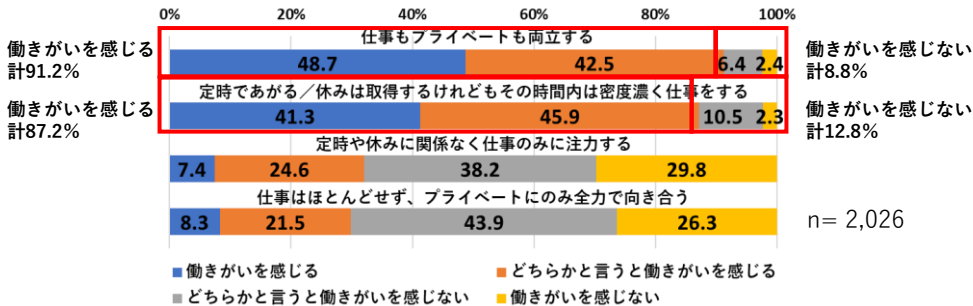


資料：広島県「県民の結婚の意識に関する調査」(2025年)

ウ 若者の就業価値観

- 若者の就業価値観が変化しており、仕事とプライベートを両立する働き方に働きがいを感じる人が多い。

【社会に出た後の働き方についてどう感じるか (SA)】

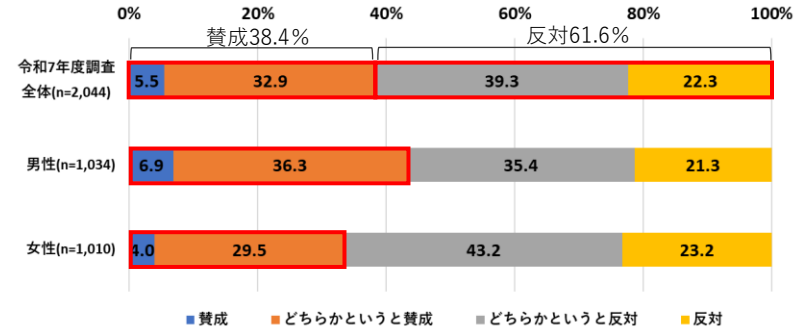


資料：厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査 (速報値)」(2024年)

エ 男女の役割分担意識

- 広島県の調査において、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意見について、賛成と回答する割合が女性よりも男性の方が高くなっている。

【夫は外で働き、妻は家庭を守るべき (SA)】

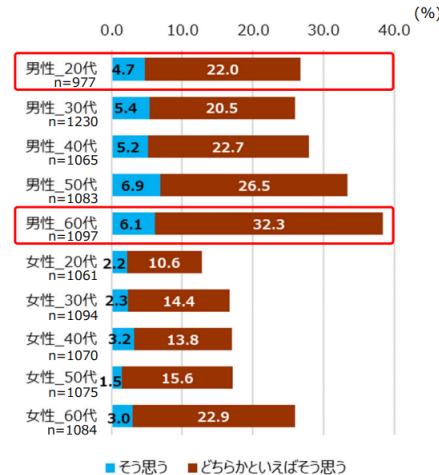


資料：広島県「令和7年度男女双方の意識改革に係る調査」

※上記数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。

- 内閣府の調査において、「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」という意見について、いずれの年代でも男女間で大きな差があるが、男性間においても20歳代と60歳代で大きな差がある。

【男性は結婚して家庭をもって一人前だ (SA)】



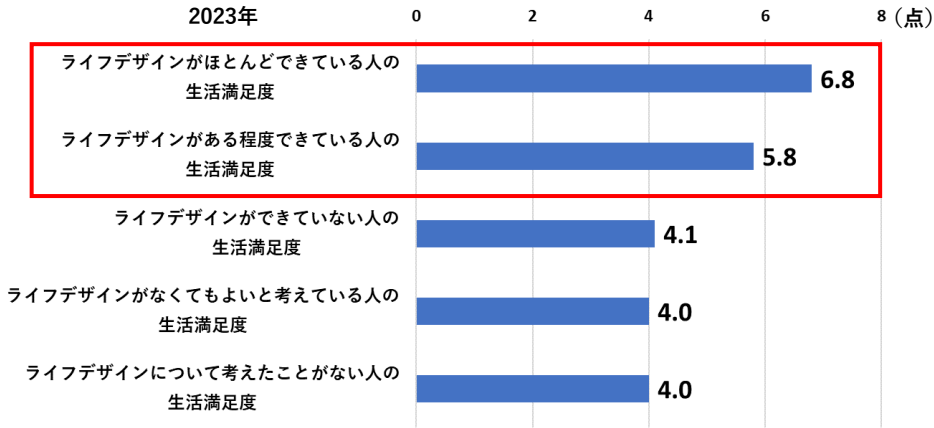
資料：内閣府「令和4年度 性別による無意識の思い込みに関する調査研究」



オ 自身のライフデザイン

- 民間の調査研究によると、ライフデザインを設計している人ほど生活満足度が高いという結果が示されている。

【ライフデザインの設計状況による生活満足度平均値（10点満点）】

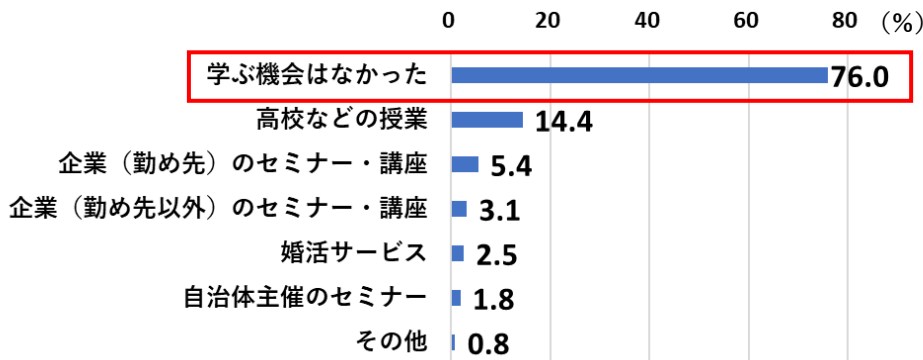


資料：（株）第一生命経済研究所

「ライフデザインレポート（ライフデザイン30年史(1)ライフデザインの設計状況）」

- こども家庭庁の調査では、20歳代社会人のうち、約8割がライフデザインについて学ぶ機会はなかったと回答している。

【ライフデザインに関する20歳代社会人の学習状況（MA）】 n=6,307



資料：こども家庭庁「令和6年度 若者のライフデザインや出会いに関する意識調査」

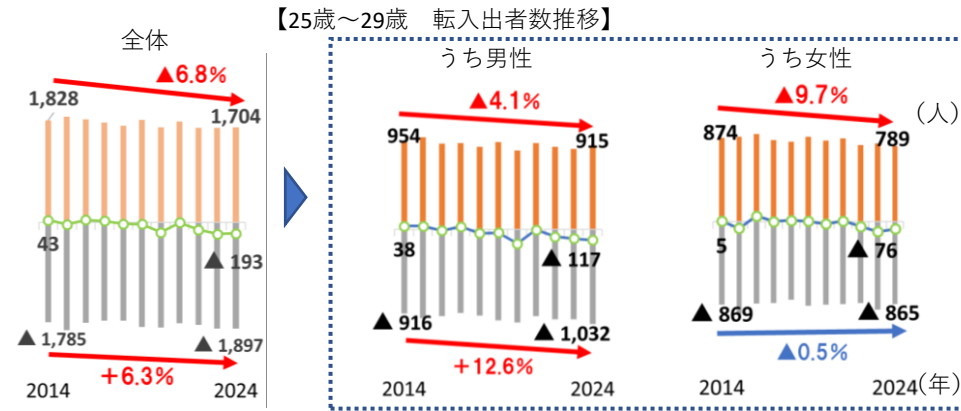


ペルソナ④市内企業に勤める既婚男性（28歳男性）

【人口関連データ】

ア 転入出者数の状況

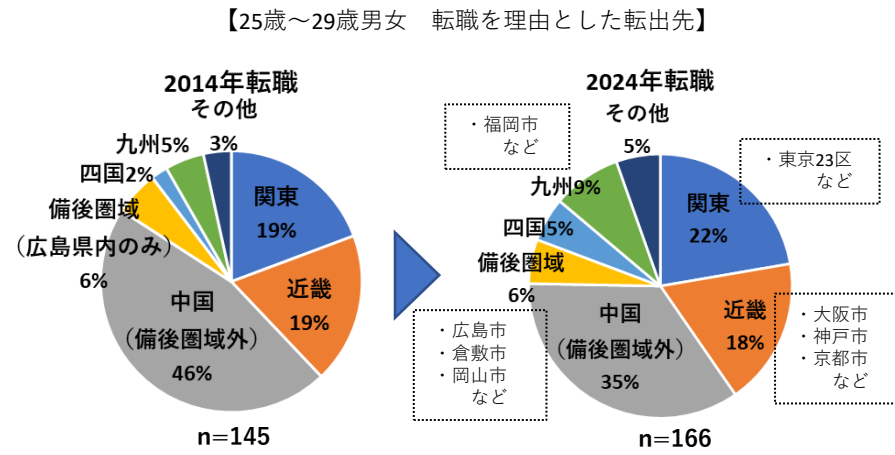
- 2014年（平成26年）から2024年（令和6年）にかけて、転出超過が拡大傾向にある。
- 転入者数は男女ともに減少傾向にある。一方で、転出者数は女性はほぼ横ばいであるものの、男性が増加傾向にある。



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

ウ 転職を理由とした転出者の状況

- 備後圏域外の中国地方への転出割合が減少している。
- 関東地方では東京23区、近畿地方では大阪市などの大都市圏が多く、中国地方では広島市、九州地方では福岡市などの都市部への転出が多い。

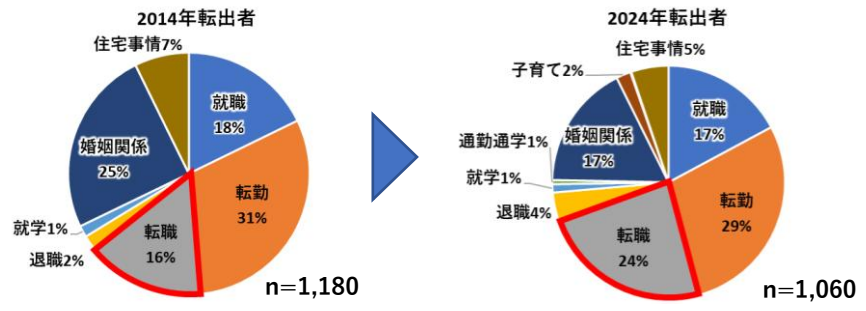


資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」

イ 転出者の転出理由

- 2014年（平成26年）と2024年（令和6年）の比較では、転勤を理由とした割合が依然として最も大きい。転職が増加している。

【25歳～29歳男女 転出理由】



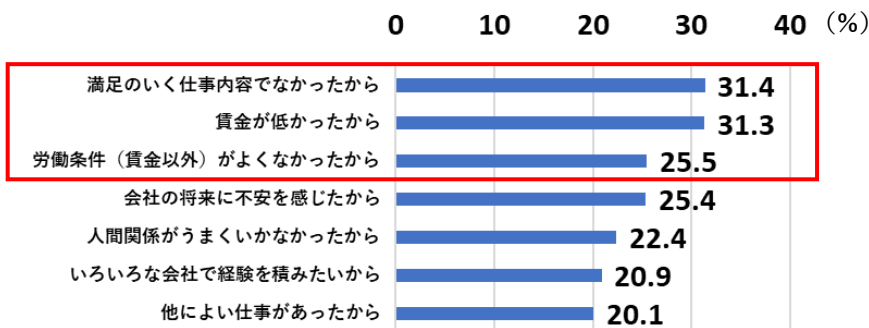
資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」 ※「その他」及び「不詳」を按分により補完した「不詳補完値」を算出し作成。

【意識関連データ】

ア 転職理由（離職理由）

- 自己都合による離職理由（25歳～29歳）の主なものとしては、「満足のいく仕事内容でなかったから」、「賃金が低かったから」、「労働条件（賃金以外）がよくなかったから」などが挙げられている。

【自己都合による離職理由（25歳～29歳）（MA）】



資料：厚生労働省「令和2年転職者実態調査」

イ 転職先の選択理由

- 現在の勤め先（転職先）を選んだ一番の理由としては、「仕事の内容・職種に満足がいくから」、「労働条件（賃金以外）がよいから」、「自分の技能・能力を活かせるから」などが挙げられている。

【現在の勤め先を選んだ一番の理由（25歳～29歳）（SA）】



資料：厚生労働省「令和2年転職者実態調査」

ウ 若者に人気の業界

- 全国的な傾向として、ソフトウェア・情報処理・ネット関連といったデジタル関連の業界が大学生の就職活動で人気となっている。

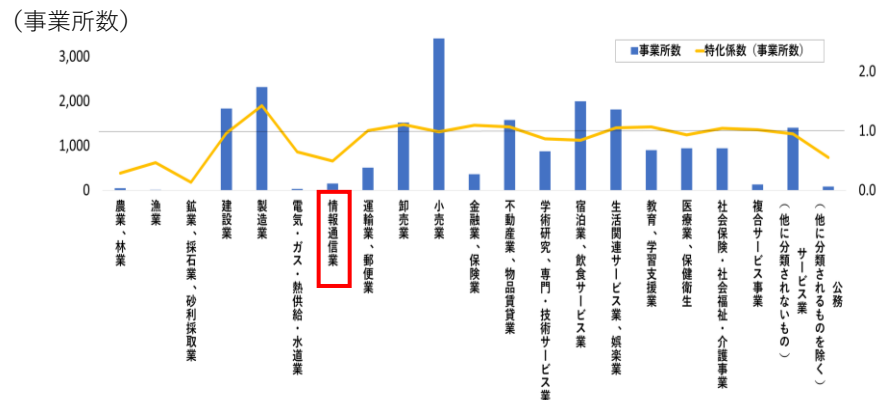
【2025年卒大学生就職志望業界（MA）】 n=1,764

順位	業界
1	ソフトウェア・情報処理・ネット関連
2	官公庁・公社・団体
3	食品・農林・水産
4	薬品・化粧品
5	銀行・証券
6	繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック
7	電子・電気機器
8	通信
9	医療・調剤薬局
10	広告・芸能

資料：（株）マイナビ「2025年卒大学生業界イメージ調査」

- 本市においては、若者に人気の情報通信業の特化係数が低く、産業の集積度が低い。

【業種別事業所数の特化度】



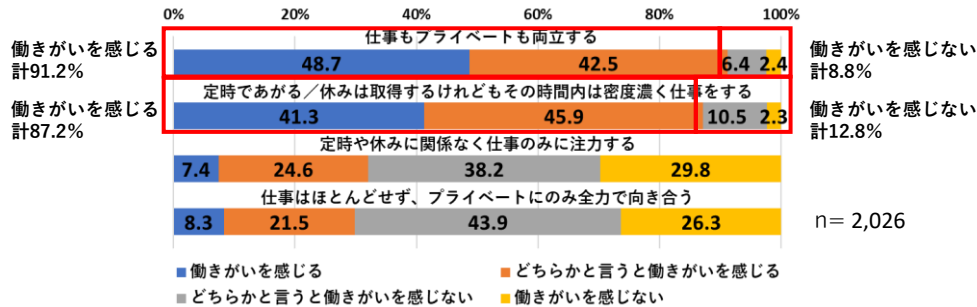
資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



エ 若者の就業価値観

- 若者の就業価値観が変化しており、仕事とプライベートを両立する働き方に働きがいを感じる人が多い。

【社会に出た後の働き方についてどう感じるか (SA)】

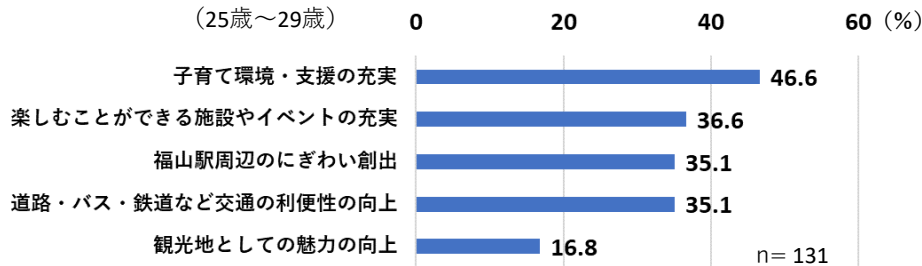


資料：厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査（速報値）」（2024年）

オ 若者が思う街の魅力

- 福山市が魅力的なまちになるために重要なこととして、「子育て環境・支援の充実」、「楽しむことができる施設やイベントの充実」、「福山駅周辺のにぎわい創出」などが挙げられている。

【福山市が魅力的なまちになるために重要なこと上位5項目 (MA)】



資料：福山市「福山市こども・若者世代実態調査」（2024年）



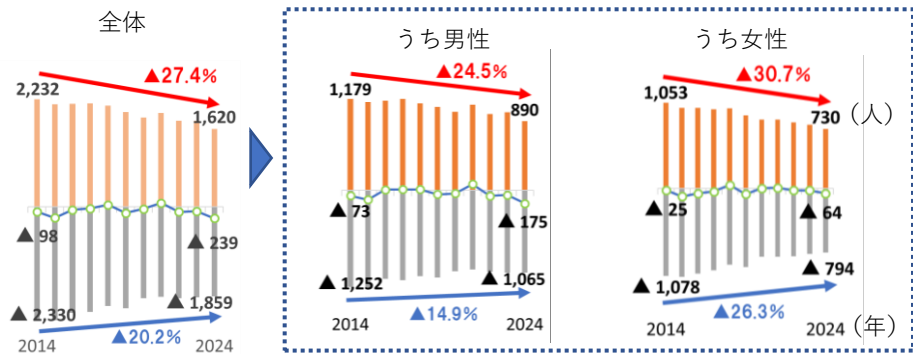
ペルソナ⑤Uターンを考える市外在住の共働き夫婦（34歳男性・34歳女性）

【人口関連データ】

ア 転入出者数の状況

- 2014年（平成26年）から2024年（令和6年）にかけて、転出超過が拡大傾向にある。
- 転入者数は落ち込みが顕著である。一方で、転出者数は男女ともに減少傾向にあり、改善している。

【30歳～39歳 転入出者数推移】

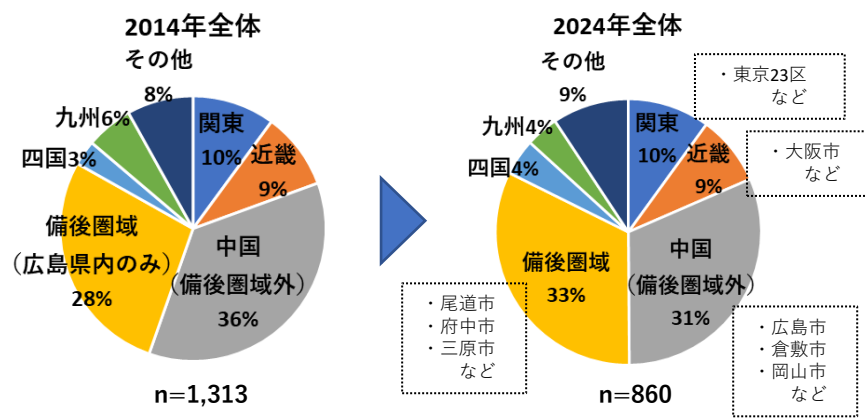


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

ウ 転入者の状況

- 尾道市など備後圏域からの転入割合が増加している一方、広島市など備後圏域を除く中国地方からの転入割合が減少している。
- 中国地方からの転入者の割合が大きいが、東京23区や大阪市など大都市からの転入者も一定数いる。

【30歳～39歳男女 転入元（転入者全体）】

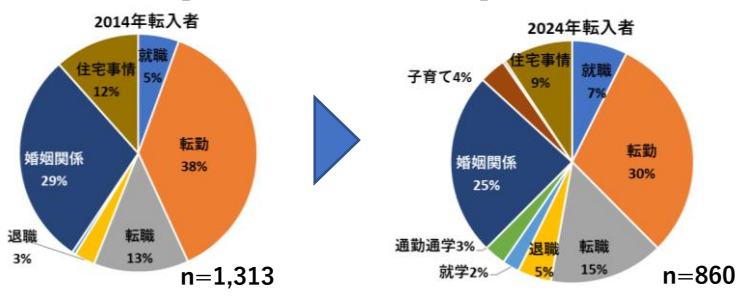


資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」

イ 転入者の転入理由

- 2014年（平成26年）と2024年（令和6年）の比較では、転勤を理由とした割合が依然として最も多いが、婚姻関係、転職、住宅事情など理由は多様化。

【30歳～39歳男女 転入理由】



資料：広島県「人口移動統計（乙調査）」
 ※「その他」及び「不詳」を按分により補完した「不詳補完値」を算出し作成。

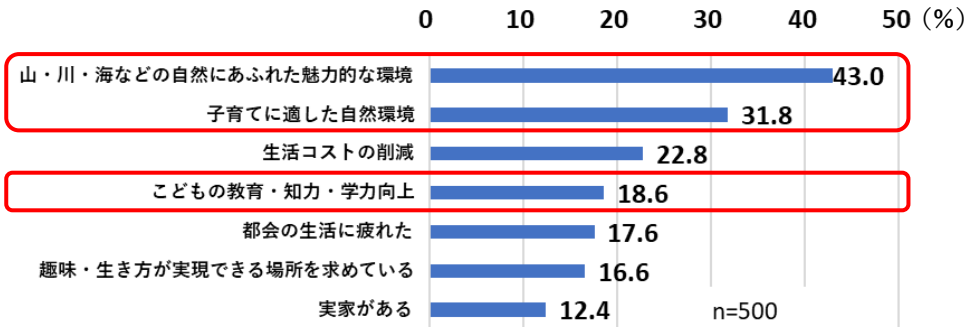


【意識関連データ】

ア 地方移住への興味

- 移住に興味がある東京圏の20歳代・30歳代の若者への調査では、移住に興味がある主な理由として、自然環境やこどもの教育などが挙げられている。

【移住に興味がある理由 (MA)】

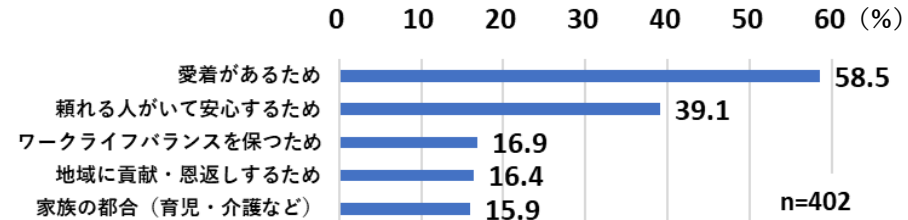


資料：(一社) 移住・交流推進機構「アフターコロナの若者移住に関する調査 (2023年)」

ウ Uターン、Jターンしたい理由

- 東京圏以外の出身で東京圏に住む20歳代・30歳代の若者への調査では、将来、地元やその周辺に戻りたいと思っている主な理由として、「愛着があるから」、「頼れる人がいて安心」などが挙げられている。

【Uターン、Jターンしたいと思う理由 (MA)】

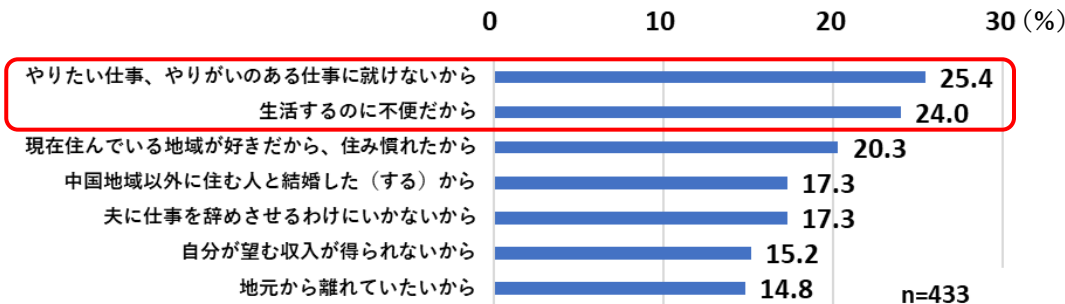


資料：トラストバンク地方創生ラボ「地元愛に関する意識調査」 (2023年)

イ Uターンを妨げている要因

- 中国地方外に居住する女性への調査では、Uターンしない主な理由として、「やりたい仕事、やりがいのある仕事に就けない」、「生活するのに不便だから」などが挙げられている。

【Uターンで中国地方に戻らない理由 (MA)】



資料：(公財) 中国地方創造研究センター「中国地方からの女性流出の現状と状況改善に向けた対応方策調査」



(2) 2026年度（令和8年度）人口減少対策の事業一覧

①重点ペルソナに対する主な事業

※担当部署については、2026年度（令和8年度）の組織名で記載

ペルソナ					事業名等	2026年度予算額 (単位：千円)	担当部署
①	④				福山駅前広場整備基本計画を踏まえた広場再編事業	131,523	福山駅周辺再生推進課
①	②	③	④		新規 働き方改革リーダー研修	6,600	産業振興課
①	②	③			新規 働き方改革実践応援奨励金	11,200	産業振興課
①					新規 キャリア教育支援事業費補助	450	産業振興課
①					新卒向け合同企業説明会（福山地方雇用対策協議会補助）	8,700	産業振興課
①	②	③			新規 アンコンキャラバン隊による出前講座	-	多様性社会推進課
①					新規 秋の一大イベントの開催（健康やスポーツ体験をテーマとしたイベント）	30,000	スポーツ振興課
②	③	④			新規 ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築	-	企画政策課
②	③				新規 女性の復職キャリア支援	7,500	産業振興課
②	③				拡充 一般不妊治療費助成の拡充	56,846	健康推進課
②	③				新規 プレコンセプションケアの推進	4,500	ネウボラ推進課
②	③				新規 出会いの場創出事業（AIマッチングシステムの導入、コーディネーターによる相談支援）	32,130	みらい世代育成課
②	③	⑤			拡充 子ども医療費助成の拡充	956,150	みらい世代育成課
②	③	⑤			拡充 若者夫婦世帯向け市営住宅の充実	22,000	住宅課
④					新規 びんごもの創り推進会議	-	経済総務課
④					新規 新たな企業誘致施策の検討（市内外企業の動向調査・分析）	5,000	経済総務課
④					グリーンな企業プラットフォームの推進	8,608	産業振興課
④					子育て応援ウィークの実施	3,804	みらい世代育成課
④					バス共創プラットフォームによる実証事業	45,734	都市交通課
⑤					新規 U・Iターン就職支援事業費補助	7,000	産業振興課
⑤					新規 ネウボラセンターの相談体制の充実 （有人チャット対応による24時間相談可能な体制整備）	33,000	ネウボラ推進課
⑤					拡充 ばらのまち福山の情報発信の強化	6,661	ばらのまちづくり課
⑤					イェナプラン教育の実践	854	学事課
⑤					拡充 校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実	1,658	教育推進課
⑤					Rose & Peace教育の推進	-	教育推進課
⑤					ふるさと学習による郷土愛の醸成	-	教育推進課



②その他の事業 ※担当部署については、2026年度（令和8年度）の組織名で記載

福山みらい創造ビジョンにおける 重点プロジェクトの柱	事業名等		2026年度予算額 (単位：千円)	担当部署
働き方改革による 家族時間・自分時間の確保	新規	働き方改革の推進に関する官民共同会議の設置	-	産業振興課
	新規	企業の福利厚生充実に向けた実証事業	2,200	産業振興課
		就業改善支援事業費補助	8,750	産業振興課
		ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	-	産業振興課
多様な生き方の尊重を前提とした 結婚・出産を望む人への支援	新規	医療機関開業支援事業費補助	30,000	保健部総務課
		小児救急医療寄付講座	12,220	保健部総務課
		周産期医療寄付講座	10,000	保健部総務課
		不育治療扶助	3,158	健康推進課
		低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援	150	ネウボラ推進課
		多胎妊娠の妊婦健康診査	1,051	ネウボラ推進課
		ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業	150	みらい世代育成課
	新規	福山市民病院 周産期母子医療センターの開設	-	市民病院管理課
こどもと子育て家庭への支援	新規	次世代AIアカデミー（中学生・高校生を対象にAIを学べる機会の提供）	6,000	デジタル化推進課
	新規	医療的ケア児通学支援事業	17,665	障がい福祉課 学事課 教育推進課
	拡充	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（相互交流支援事業）	344	保健予防課
		幼児等インフルエンザ予防接種費補助	23,520	保健予防課
	拡充	こども発達支援センター	205,013	こども発達支援センター
	新規	母子保健業務に係る相談記録のDX	16,900	ネウボラ推進課
	新規	児童虐待防止対策事業（AI音声認識を活用した電話対応、親子関係形成支援事業など）	124,303	ネウボラ推進課
	新規	ネウボラセンター1周年記念事業	9,600	ネウボラ推進課
	新規	初めてのパパママサポート事業	3,498	ネウボラ推進課
	新規	5歳児健康診査の試行実施	2,958	ネウボラ推進課
	拡充	ひとり親家庭自立支援事業	130,093	ネウボラ推進課
	拡充	ヤングケアラー実態調査	3,000	ネウボラ推進課
		ネウボラ運営	195,140	ネウボラ推進課
		子育て支援情報の発信	660	ネウボラ推進課
		居場所づくり支援事業	8,319	ネウボラ推進課
		産婦健康診査	24,390	ネウボラ推進課



福山みらい創造ビジョンにおける 重点プロジェクトの柱	事業名等	2026年度予算額 (単位：千円)	担当部署
こどもと子育て家庭への支援	産後ケア事業	11,606	ネウボラ推進課
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	7,919	ネウボラ推進課
	出産・子育て応援事業	294,425	ネウボラ推進課
	勤労者育児支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	12,987	ネウボラ推進課
	子育て世代ファイナンシャルプランナー相談会の実施	264	ネウボラ推進課
	就労・再就職支援事業	-	ネウボラ推進課
	養育費確保支援事業費補助	1,882	ネウボラ推進課
	えほんの国運営	22,395	ネウボラ推進課
	子育て短期支援事業	6,666	ネウボラ推進課
	地域子育て支援拠点事業	211,295	ネウボラ推進課 保育施設課
	新規 若者の居場所づくり事業（ユースセンターの開設）	6,796	みらい世代育成課
	児童手当（2024年度以降の拡充分のみを予算額に計上）	3,380,817	みらい世代育成課
	児童扶養手当（2024年度以降の拡充分のみを予算額に計上）	331,650	みらい世代育成課
	こども・若者の意見聴取事業	-	みらい世代育成課
	こどもまんなか社会について地域住民への意識啓発	-	みらい世代育成課
	新規 保育料見直しに係る検討	2,452	保育施設課
	新規 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施	38,463	保育施設課
	新規 園外保育事業費補助	6,120	保育施設課
	新規 保育士資格取得支援事業費補助	2,567	保育施設課
	新規 放課後児童クラブICT化推進事業	38,000	保育施設課
	拡充 放課後児童クラブの運営（クラブ開設時間延長の取組）	31,530	保育施設課
	拡充 病児・病後児保育事業	74,188	保育施設課
	第2子以降の保育料無償化	504,661	保育施設課
	保育施設等給食材料費高騰対策事業	272,483	保育施設課
	保育士等就労支援事業費補助	10,200	保育施設課
	保育補助者雇上強化事業費補助	168,429	保育施設課
	（仮称）あけぼのこども園整備	726,770	保育施設課
	私立保育所等委託料（休日保育支援加算）	2,531	保育施設課
	保育所の入所制度の充実	-	保育施設課



福山みらい創造ビジョンにおける 重点プロジェクトの柱	事業名等		2026年度予算額 (単位：千円)	担当部署
		保育体制強化事業費補助	52,980	保育施設課
		保育人材復職等支援事業	8,126	保育施設課
		保育所等の広域入所	-	保育施設課
		保育現場魅力発信事業	2,000	保育施設課
		医療的ケア児保育支援事業	90,678	保育施設課
	新規	かるがる登園（お昼寝用簡易ベッド等の導入）	8,010	保育指導課 保育施設課
		スマート保育推進事業	62,419	保育指導課 保育施設課
		公立保育所保育士の確保	-	保育指導課
		ことばの相談室運営	325	保育指導課
	拡充	交流館へのキッズスペース設置	2,500	まちづくり企画課
		夢みるパパとママの会、男性育児講座	42	多様性社会推進課
	新規	ニーズに対応した魅力ある公園づくり（公園遊具等整備事業）	60,000	公園緑地課
		丸之内公園再整備	111,310	公園緑地課
	拡充	空家リノベーション事業費補助	5,000	建築指導課
	新規	小学校の給食費完全無償化	209,561	学校保健課
学びと仕事の選択肢の充実		（仮称）ふくやま未来大賞実行委員会負担金	9,800	企画政策課
		びんごクリエイターズラボ	4,400	備後圏域連携推進室
		福山市立大学情報工学部の開設（学部新設準備費交付金）	188,170	総務部総務課
		地域未来投資促進事業	386	経済総務課
		福山夢・未来開花プロジェクト	3,006	みらい世代育成課
		グローバル人材育成事業	2,008	福山中・高等学校
子育て・教育環境の充実	新規	市立小・中学校体育館への空調整備（屋内運動場空調設備整備）	998,000 (2026年3月補正)	施設課
		フリースクールおやまの学校	1,200	学校再編推進室
	新規	教科指導力ステップアップ事業	2,836	学事課
	拡充	コミュニティ・スクール活動支援事業	5,998	学事課
		学びづくりフロンティア校事業	648	学事課
		特認校の運営	-	学事課
	拡充	学力向上支援事業	44,806	教育推進課



福山みらい創造ビジョンにおける 重点プロジェクトの柱	事業名等		2026年度予算額 (単位：千円)	担当部署
子育て・教育環境の充実	拡充	芸術文化体験事業	17,971	教育推進課
	拡充	公共及び民間プール施設を活用した水泳授業の実施	102,513	教育推進課
		外国人児童生徒等教育推進事業	17,861	教育推進課
		メタバースを活用した不登校支援	2,578	教育推進課
市域全体のにぎわい創出	新規	全世代交流型エリアビジョン策定	27,803	企画政策課
	新規	地域拠点形成推進事業（地域の拠点づくり推進アドバイザー派遣）	1,200	地域拠点形成推進課
		推進会議等運営（エリアリノベーション勉強会の運営など）	8,128	福山駅周辺再生推進課
		エフビコRiM改修事業	393,200	福山駅周辺再生推進課
		商店街活力向上事業費補助	3,600	産業振興課
		ばらのまち福山国際音楽祭実行委員会負担金	44,300	文化振興課
	新規	大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の移築	241,715	未来館設置準備室
		（仮称）子ども未来館整備	154,278	未来館設置準備室
		（仮称）子ども未来館機運醸成イベント	8,500	未来館設置準備室
		沼隈、内海地域のにぎわいづくり	2,500	南部地域振興課
		松永駅北口のにぎわいづくり	2,500	松永地域振興課
		神辺駅西側のにぎわいづくり	500	神辺地域振興課
		（仮称）新市地区かわまち広場整備検討事業	3,637	建設政策課
	新規	道路新設改良（旧体育館跡地周辺道路整備）	145,000	道路整備課
	新規	五本松公園再整備	30,000	公園緑地課
		駅家公園官民連携推進事業	2,000	公園緑地課
	中央公園官民連携推進事業	5,850	公園緑地課	
“ばら”による都市ブランド価値の向上	新規	福山ばら祭での世界バラ会議福山大会1年後イベント	24,000	観光戦略課
	拡充	ガーデンツーリズム推進事業費負担金	5,000	観光戦略課
		MICE推進協議会負担金	452	観光戦略課
		観光コンベンション誘致推進事業費負担金	31,630	観光戦略課
	新規	2027年国際園芸博覧会への出展準備	6,656	ばらのまちづくり課
	新規	福山ばら大学の実施（マイスターコース創設）	3,903	ばらのまちづくり課
		ばらの環境整備事業	8,896	ばらのまちづくり課
		ばらの専門家への管理委託	20,000	公園緑地課